



## 平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社ダイイチ

コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務兼企画IR担当

(氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	25,729	6.5	785	7.6	768	9.6	487	12.5
25年9月期第3四半期	24,167	2.2	729	21.2	701	25.3	433	31.0

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 489百万円 (8.9%) 25年9月期第3四半期 449百万円 (39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	85.29	—
25年9月期第3四半期	108.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	15,922	7,944	49.9	1,390.46
25年9月期	15,731	7,551	48.0	1,321.73

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 7,944百万円 25年9月期 7,551百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期の期末配当金には、創立55周年記念配当2円を含んでおります。

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,390	6.2	956	0.9	915	4.0	549	4.4	96.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	5,719,320 株	25年9月期	5,719,320 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	5,946 株	25年9月期	5,919 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	5,713,386 株	25年9月期3Q	3,997,483 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策、海外経済の持ち直しなどにより、景気は、緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動から、4月以降は弱い動きとなりました。個人消費につきましては、一部の商品に持ち直しの兆しが見られましたが、消費全般では慎重な購買姿勢が続いております。

当社グループ(当社及び連結子会社)を取り巻くスーパーマーケット業界は、電気料金の値上がりや消費税増税などに対する、消費者の生活防衛意識の高まりから節約志向が強まる中で、ディスカウント業態やドラッグストアとの低価格競争の激化など、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような経営環境のもとで当社グループは、食品を中心に地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様からの高い支持と信頼をいただけるよう、安心して安全な商品の提供に努めてまいりました。また、株式会社イトーヨーカ堂(以下、イトーヨーカ堂という。)との業務提携効果の早期実現による収益力の向上、現地・現場主義の徹底による店舗運営の強化、新店舗の開発と既存店舗の活性化、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上などを図り、競争に耐える強い企業体質の実現に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、平成25年11月に「音更店(帯広ブロック)」及び「清田店(札幌ブロック)」を開店し、お客様の更なる支持と業容の拡大に努めております。なお、当四半期末現在の店舗数は、帯広ブロック10店舗、旭川ブロック7店舗、札幌ブロック4店舗、合計21店舗であります。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは118億89百万円(前年同期比8.6%増)、旭川ブロックは上富良野店の閉店に伴い78億63百万円(前年同期比5.0%減)、札幌ブロックは59億69百万円(前年同期比20.9%増)となりました。また、既存店売上高につきましては、販売力の強化と販売促進企画の見直しなどにより、前年同期比1.2%増と堅調に推移いたしました。消費税増税前後の既存店売上高の前年同期比は、3月度は6.0%の増収、4月度は4.3%の減収となりました。

売上総利益率につきましては、価格競争が厳しさを増す中で、店舗運営の推進によるロスの削減と仕入の見直しによるコストダウン、イトーヨーカ堂との提携効果により、前年同期に比べ、0.6ポイント改善し23.9%となりました。

コストコントロールにつきましては、作業計画と連動した労働時間管理の徹底、既存店舗の節電対策としてLED照明と省電力空調の設備投資を4店舗で実施いたしました。

イトーヨーカ堂との提携につきましては、プライベートブランド「セブンプレミアム」及び「セブンゴールド」など、新店の「音更店」から導入を開始し、1月末までに全店舗の導入を完了いたしました。また、1月より仕入コストの低減を目指し、食品と菓子を中心に仕入先(帳合先)をイトーヨーカ堂と統一いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は257億29百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は新店舗の開店に伴う一時費用73百万円の発生があったものの売上総利益の増加により7億85百万円(前年同期比7.6%増)、経常利益は7億68百万円(前年同期比9.6%増)、四半期純利益は4億87百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億91百万円増加の159億22百万円となりました。流動資産においては、主に商品及び製品の増加1億32百万円及び売掛金の増加36百万円等に対し、現金及び預金の減少2億69百万円及びその他の減少68百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少の32億18百万円となりました。固定資産においては、有形固定資産のその他の増加2億39百万円、敷金及び保証金の増加2億22百万円及び投資その他の資産のその他の増加1億70百万円に対し、土地の減少1億80百万円及び建物の減少92百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億59百万円増加の127億4百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億1百万円減少の79億78百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加2億26百万円等に対し、1年内返済予定の長期借入金の減少1億22百万円及び未払法人税等の減少1億6百万円等により、前連結会計年度末に比べ12百万円減少の41億4百万円となりました。固定負債においては、その他の増加2億75百万円、退職給付引当金の増加11百万円及び役員退職慰労引当金の増加10百万円等に対し、長期借入金の減少4億85百万円により、前連結会計年度末に比べ1億88百万円減少の38億74百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億92百万円増加の79億44百万円となりました。これは主に、利益剰余金3億90百万円の増加によるものです。この結果、自己資本比率は49.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月6日の「平成25年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,954,280	1,685,171
売掛金	180,159	216,545
商品及び製品	843,471	976,138
原材料及び貯蔵品	3,065	3,555
その他	406,468	338,165
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	3,385,946	3,218,076
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,925,843	3,833,059
土地	5,853,504	5,672,860
その他(純額)	618,652	858,356
有形固定資産合計	10,398,001	10,364,275
無形固定資産		
その他	15,374	14,631
無形固定資産合計	15,374	14,631
投資その他の資産		
敷金及び保証金	704,059	926,956
その他	1,227,872	1,398,813
投資その他の資産合計	1,931,931	2,325,769
固定資産合計	12,345,307	12,704,677
資産合計	15,731,253	15,922,754
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,855,499	2,081,699
短期借入金	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	781,278	658,421
未払法人税等	231,079	124,968
賞与引当金	138,751	155,726
その他	1,079,611	1,083,238
流動負債合計	4,116,219	4,104,053
固定負債		
長期借入金	2,618,591	2,132,993
退職給付引当金	511,232	522,235
役員退職慰労引当金	177,512	187,685
資産除去債務	15,575	15,725
その他	740,571	1,015,856
固定負債合計	4,063,482	3,874,496
負債合計	8,179,702	7,978,549

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	4,338,623	4,728,789
自己株式	△2,832	△2,857
株主資本合計	7,541,144	7,931,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,407	12,918
その他の包括利益累計額合計	10,407	12,918
純資産合計	7,551,551	7,944,204
負債純資産合計	15,731,253	15,922,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	24,167,204	25,729,665
売上原価	18,530,038	19,588,769
売上総利益	5,637,165	6,140,895
営業収入	374,132	388,477
営業総利益	6,011,297	6,529,372
販売費及び一般管理費	5,281,835	5,744,133
営業利益	729,462	785,239
営業外収益		
受取利息	8,192	9,759
受取配当金	3,165	5,104
その他	8,473	4,745
営業外収益合計	19,831	19,609
営業外費用		
支払利息	46,930	35,438
その他	1,359	1,395
営業外費用合計	48,290	36,833
経常利益	701,003	768,015
特別利益		
固定資産売却益	—	7,339
国庫補助金	—	10,870
特別利益合計	—	18,209
特別損失		
固定資産圧縮損	—	10,870
特別損失合計	—	10,870
税金等調整前四半期純利益	701,003	775,355
法人税、住民税及び事業税	269,062	274,619
法人税等調整額	△1,222	13,441
法人税等合計	267,840	288,060
少数株主損益調整前四半期純利益	433,162	487,294
四半期純利益	433,162	487,294

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	433,162	487,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,745	2,511
その他の包括利益合計	16,745	2,511
四半期包括利益	449,907	489,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,907	489,805
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループ(当社及び連結子会社)は、食料品主体のスーパーマーケット事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。